

会 議 録（確定稿）

会議名称	第三次西東京市地域福祉活動計画（第17回）策定委員会
日 時	平成26年3月25日（火）午後7時～9時10分
会 場	田無総合福祉センター2階視聴覚室
出席者	<p>（策定委員） 熊田委員・三輪委員・伊佐委員・小松委員・内田委員 畠山委員・田中委員・白倉委員・高橋委員・尾崎委員 鵜澤委員・陸名委員・高梨委員・岩崎委員</p> <p>（事務局） 栗山・齊藤・丸木・鈴木・鵜野・長谷川・関根・廣瀬・利光・八阪</p> <p>（コンサルタント） 田口・渡邊</p>
欠席者	成田委員・田谷委員・土方委員 事務局 妻屋
会議次第	<p><次第></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員長挨拶 2. 資料確認 <p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前回会議録確認 2. 成果品について <ol style="list-style-type: none"> ①はじめに～3. 計画の体系 ②取り組みごとの紹介～資料編 ③変更点について 3. 第三次地域福祉活動計画の推進体制について 4. その他
配付資料	<p><事前配付資料></p> <p style="text-align: center;">次第</p> <p>資料1：第16回策定委員会会議録（未定稿） 資料2：成果品（最終案） 資料3：第三次西東京市地域福祉活動計画推進部会企画書 ご案内：第三次西東京市地域福祉活動計画推進部会メンバーの募集 <確定稿会議録>：第15回策定委員会確定稿会議録</p> <p><当日配付資料></p> <p>資料4：最終版（案）</p>
結 論	<p>◆決定事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前回会議録は、訂正2点を修正した上で、確定稿とする。 2. 第17回策定委員会開催後に、委員より指摘等がある場合は、3月28日（金）までに事務局に提出する。 3. 計画の愛称は、事務局案の「一みんなですすめる計画～住みなれた地域で住み続けるために～」で決定する。

<次第>

事務局より、開会の挨拶を行うとともに、本日委員会の欠席者について報告した。

1.委員長挨拶

委員長：第17回策定委員会を迎えた。策定に向けた議論をこれまで行ってきたが、いよいよ最終回となった。本日、最終版（案）を基に、計画を確定したいと考えている。委員の皆様のご協力をお願いしたい。

2.資料確認

事務局より、資料確認を行った。

<議題>

1. 前回会議録確認

委員長：お気づきの点や修正点があればご指摘いただきたい。

（委員からは特に無し。）

委員長：委員長より、2点修正点がある。8ページ目に「衛生」とあるが、正しくは「衛星」である。また、同ページの「ただ、連携関係の元で…」という文章については、「元」から「基」への修正をお願いしたい。その他にお気づきの点はあるか。

（委員からは特に無し。）

委員長：特に指摘箇所がなければ、修正をもって確定稿とする。

2. 成果品について

①はじめに～3. 計画の体系

「構成案・計画案～3. 計画の体系の説明」

事務局より、資料4を用いて、成果品の説明を行った。

「意見交換」

[体裁・誤字脱字等について]

- 5ページ「2. 計画策定にあたってあげられた地域の課題」について

<委員意見>

- ・「市内の統計データ等（抜粋）」で「地域の人とのつきあいやかかわり：82.8パーセントが「必要」となっているが、「必要」のあとにカギ括弧が抜けている。
- ・「…82.8%が「必要」のあとに、さらに文章が続くのではないか。
- ・「…82.8%が「必要」のあとに、「必要だと思う」という文章が続くのではないか。

事務局：「必要だと思う」、「まあまあ必要だと思う」を合わせて 82.8%となるため、「必要」という表現にしている。

<決定事項>

- ・抜けているカギ括弧を追加する。ただ、「必要だと思う」の回答は 36.3%に過ぎず、ここでは「必要」と回答した結果を示したいため、「必要」と回答」と修正する方向で検討する。

- 4 ページ 3)「計画の期間」の文字インデントについて

<委員意見>

- ・図の下方にある文字インデントが、同ページの文章と異なるため、揃えて欲しい。(委員長)

<決定事項>

- ・インデントを揃える。

- 7 ページ「計画の主な取り組み見取り図」に関して

<委員意見>

- ・市民から各目標に向かう矢印の位置が放射線状になっておらず、見栄えが良くない。今後、何度も参照される図であると予測されるため、調整を行って欲しい。
- ・「計画の主な取り組み見取り図」については、余白がない状態である。そこで、6 ページよりはじまる 1)、2)、3)という順番が作為的でなければ、「3)計画の方向性」を 6 ページに移動させた上で、スペースを確保するのではどうか。
- ・「計画の主な取り組み見取り図」における「市民」のボックスを削除すれば、矢印を配置する余白が生まれるのではないか。
- ・それぞれの矢印を短くした上で、各目標のボックスに重ねて表示すれば、矢印の配置が整うのではないか。
- ・図自体を縮小して表示してはどうか。

<決定事項>

- ・技術的な部分では、図全体を縮小して表示するなど、配置が整うように調整を行う。

- 8～9 ページ「4. 計画の体系」について

<委員意見>

- ・8 ページの「具体的取り組み」のボックス内は、文章であるにもかかわらず、すべてセンタリング表示となっているため、読みにくい。それに対し、他の箇所は左寄せとなっている。統一することはできないか。
- ・8 ページ「具体的取り組み」のボックス内は、左右方向だけでなく、上下方向においても統一されていないため、その点も留意して欲しい。
- ・表示については、基準を設けるべきである。「具体的な取り組み」以外のボックスもまた、すべて統一されているわけではないので、調整をお願いしたい。

- ・「具体的な活動内容」とは…」のボックスと「具体的な活動内容」の間の空白が大きすぎるため、幅を「基本理念」と「基本目標」・「具体的取り組み」の幅に合わせて縮小できないか。
- ・9ページ「具体的な活動内容」の内容について、文字のインデントがばらばらであるため、揃えて欲しい。
- ・9ページの「具体的活動内容」の内容にそれぞれ掲載されている画像の位置が揃っていないため、揃えて欲しい。また、画像が切れてしまっている点についても確認して欲しい。

<決定事項>

- ・体裁の統一を行う。

- レイアウトの修正全般について

<委員意見>

- ・気づいた点について、委員からも指摘をしてもよいのか、それとも細かい部分は、事務局で訂正をお願いできるのか。

<決定事項>

- ・事務局における確認は行うが、委員で気づいた点については、この場で発言していただきたい。

[文言の調整等について]

- 「はじめに」について

<委員意見>

- ・「…前進していくことを強く願います」とあるが、他人任せのような印象がある。ことばのトーンを調整することはできないか。

<決定事項>

- ・会長の挨拶文であるため、文章の調整が難しいと思われる。

- 3ページ「1. 計画の位置づけ」の図について

<委員意見>

- ・「次世代育成支援行動計画」とあるが、名称は「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」である。地域福祉計画においても正式名称の表記となっているため、統一した方がよいのではないか。

<決定事項>

- ・西東京市次世代育成支援行動計画の名称が変更されているため、委員の指摘事項に沿う方向で修正する。

- 3ページ「1. 計画の位置づけ」の文章に関して

<委員意見>

- ・最後の行に「…同じ方向をめざしていきます」とあるが、文章として違和感がある。「…同じ方向を歩いていきます」や、「同じ目的をめざしていきます」と改めるべきではないか。「めざしていきます」としたいのであれば、「方向」とするのはおかしい。
- ・他の計画と目的が共通であれば、「目的」としても問題がないが、その限りではないと思われる。

<決定事項>

- ・それぞれの計画において理念が異なるという観点から、「…地域福祉をめざしていきます」等、方向性が共通であることは断言しない形式で文言を調整する。この点については、委員長預かりとする。

● 5 ページ「2. 計画策定にあたってあげられた地域の課題」について

<委員意見>

- ・前回の計画案で統計データの出典元が記載されていたが、今回の説明においては「都市計画課から説明を受けた」内容とされた。
- ・「市内の統計データ等（抜粋）」の各データはそれぞれ出典元が異なるため、5 ページへの出典元の記載は難しいのではないかと。
- ・「市内の統計データ等」抜粋について、グラフに「(N=1321)」とあるが、N 値という表記が分かりにくいいため、分かりやすい表記が望ましい。

<決定事項>

- ・巻末の資料編（22 ページ「市内の統計データ等」）に出典が「第三期西東京市地域福祉計画（第 6 回）策定委員会基礎資料」と記載されている。
- ・5 ページで出典元が分かるような記載を行う。ただし、各データの出典が異なるため、ひとつひとつを記載することではなく、事務局で調整を行う。
- ・グラフの「N」については、「回答者数」等の表記を行う方向で検討する。

● 9 ページ「4. 計画の体系」について

<委員意見>

- ・「具体的な活動内容」の内容について、「…しましょう」で統一されているが、読んだ印象として、他人事のようである。

<決定事項>

- ・会議の決定事項として「…しましょう」としたため、現行のままとする。

②取り組みごとの紹介～資料編

「取り組みごとの紹介」の説明

事務局より、資料 4 を用いて、「5. 取り組みごとの紹介」の説明を行った。

「意見交換」

[体裁・誤字脱字等について]

- 不要なコンテンツに関して

<委員意見>

- ・「5. 取り組みごとの紹介」において、基本目的を外した段階で「具体的な活動内容」の上部にある罫線は不要であるため、削除して欲しい。

<決定事項>

- ・罫線を削除する方向で調整する。

- ページのバランスについて

<委員意見>

- ・12～13 ページは見開きで左右が整っていることに対し、10～11 ページは左右で位置が揃っていないという印象がある。全てのページの位置ではなく、見開きのページに関しては調整を行って欲しい。

<決定事項>

- ・印刷時に左右が整うようなレイアウトに調整する。

- 文字寄せ、アイコンの位置に関して

<委員意見>

- ・「5. 取り組みごとの紹介」ページの「あなたができること、したいことは何でしょう？」とあるが、ボックス内文字を左寄せにして欲しい。
- ・12 ページと 13 ページの上向きの矢印の位置が異なるため、13 ページの矢印を下方へ調整して欲しい。
- ・「5. 取り組みごとの紹介」で、画像が貼られた格子内について、文字の水平方向がばらばらとなる。(例：市民に「できること」の格子内における文字の位置)
- ・「5. 取り組みごとの紹介」で、市に「期待すること」とあるが、2 行にわたるのが気になるため、調整を行って欲しい。
- ・「5. 取り組みごとの紹介」の 10 ページで「アクションプラン」の「考察 検討」、「ノウハウの蓄積」等、ボックス内の文字のセンタリング表示（水平方向についても）を統一して欲しい。該当箇所だけでなく、全体的に確認を行う必要がある。

<決定事項>

- ・指摘をふまえ、調整を行う。
- ・テキストボックス等に関しては、全体的なレイアウト上の統一性を設けて反映させる。

● 「5. 取り組みごとの紹介」の色遣いについて

<委員意見>

- ・「5. 取り組みごとの紹介」の11ページにおいて、「・再実施をする」および「・別の地域でも行う」とあり、他のページにも同様のボックスが見受けられる。塗りつぶしの色を全て揃えるべきでないか。
- ・ボックスが「アクションプラン」を示しているのか、あるいは、そもそも「目標」を示しているのかという点によって異なる。11ページについて、ボックスが格子をまたがっている。意味合いが「目標値」であれば、現段階の色遣いでよいのではないか。
- ・同一の文言のボックスが他ページにもあるため、色については揃える必要があるのではないか。
- ・検討の際に、意図的に現段階の色遣いとしたため、統一の必要はないと感じる。ただし、経緯については今一度資料を見直すなど、確認する必要がある。
- ・計画案をさかのぼると、3月12日の資料と資料4については色遣いが同一である。だが、いずれにしてもページ間におけるボックスの色遣いは統一する必要があると考える。
- ・3月7日時点の資料については、該当するボックスの色がすべてグレー（「取り組み内容」）となっている。どこかの段階で変わってしまったのではないか。

<決定事項>

- ・グループワークの資料、及び過去の計画案を見直すことを通して、色遣いの確認・調整を行う。

● 漢字、ひらがなの統一について

<委員意見>

- ・14～15ページをはじめ、「さまざま」と「様々」について統一をして欲しい。

<決定事項>

- ・「さまざま」の方が柔らかい気もするが、委員長預かりとする。

● 「6. 策定の経緯」の半角・全角について

<委員意見>

- ・「6. 策定の経緯」において、18～19ページで「アンケート」が半角となっている。スペース確保のために半角としているのであれば、併せて「②策定委員会委員による市民アンケートの実施」についても「実施内容」で「アンケート」を半角とし、1行に収めることはできないか。少なくとも、カタカナを半角とするかどうか、ルールを決める必要がある。

<決定事項>

- ・半角となっている箇所は、レイアウト上調整が可能なカタカナ部分については調整をしている。また、「②策定委員会委員による市民アンケートの実施」については、「開催期間」が2行であるため、カタカナ部分も全角のままとするが、2行目については、左寄せとする。

- 資料編の誤表記に関して

<委員意見>

- ・「西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ」は「な行」ではないか。

<決定事項>

- ・訂正を行う。

[文言の調整等について]

- 「6. 策定の経緯」の時間表記について

<委員意見>

- ・「6. 策定の経緯」において、「昼間 14:30～16:00」等の表記があるが、24 時間表示であれば「昼間」という文言は不要であるように感じられる。

<決定事項>

- ・24 時間表記における「昼間」、「夜間」は削除する方向で検討する。

- 「5. 取り組みごとの紹介」の凡例について

<委員意見>

- ・「5. 取り組みごとの紹介」の 10 ページで「取り組み内容」と「目標」の塗りつぶしの色分けに関する凡例があるが、各ページに挿入することが望ましいのではないか。

<決定事項>

- ・修正を行う。

- 「5. 取り組みごとの紹介」の「アクションプラン」について

<委員意見>

- ・「5. 取り組みごとの紹介」の 11 ページ「アクションプラン」において「再実施をする」とあるが、「再度実施」とした方が良いのではないか。
- ・「再実施」という言葉には、過去に試みたが失敗した経緯があるといったようなニュアンスの印象がある。
- ・「再度実施」の方が分かりやすいのではないか。
- ・「再実施」の代わりに「継続実施」としてはどうか。

<決定事項>

- ・「再実施」を「再度実施」もしくは「継続実施」にする方向で検討する。

[構成・要素の調整や追加等について]

- 「5. 取り組みごとの紹介」の写真挿入について

<委員意見>

- ・16 ページについては、写真でなく、イラストとなっている。他のペー

ジと揃えて写真を表示する必要があるのではないか。回覧板を渡している場面等の写真が考えられる。

- ・回覧板に関わる写真は入手が難しく、かといって場면을演出するわけにもいかない。イラストについては合致していたため、挿入した次第である。他のページについても、イラストとなる可能性がある。イメージのわくようなオブジェクトを挿入したいと考えている。
- ・回覧板のポートレートであれば写真で掲載することが可能ではないか。ただし、他のページで必ずしも写真を挿入するとは限らないのであれば、イラスト等としても問題がないように思える。
- ・掲示板の写真であれば撮影できる可能性はあるが、自治会の了解を得る必要はあろう。また、回覧板は自治会が保管しているので、写真撮影には自治会の了解を得ることが必要であり、実際問題として難しいように思う（私の所属する自治会の場合）。

<決定事項>

- ・各ページにおける写真、イラストとの整合性を図りながら、事務局で調整を行う。

【「資料編」について】

- データの更新に関して

<委員意見>

- ・「人口動態」のデータの最新が「24年度時点」となっているが、市のホームページにおいて、更新日がH26の3月10日となっている。197,443という最新データに更新してはどうか。
- ・「第三次西東京市地域福祉計画」の議論を行った時期に掲載したデータであるため、当時の議論で「最新データ」であったものを反映させることが適当ではないか。

<決定事項>

- ・事務局として、最新の資料を掲載する基準として、「現在の状況」等である場合と考えている。そのため、「人口動態」のように、議論の当時に確認されたものについては、そのまま掲載する。

- グラフ体裁に関して

<委員意見>

- ・本編と同様に、グラフの「N」については「回答者数」に改めて欲しい。
- ・横棒グラフの凡例文字を大きく表示して欲しい。

<決定事項>

- ・グラフの調整を行う。

- 用語解説に関して

<委員意見>

- ・どのような基準で用語解説の用語を選択しているのかを教えて欲しい。

事務局：事務局とコンサルで、説明が必要であると判断した用語について挙げている。この他に必要な用語があれば、ご意見をいただきたい。

<委員意見>

- ・「共助」の用語解説があるが、「自助」、「公助」の追加をお願いしたい。
- ・「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」をはじめ、福祉分野の各種計画について、用語解説が必要であればお願いしたい。
- ・計画案の冒頭で「地域福祉コーディネーター」の表記がある。また、「地域福祉コーディネーター」を「ほっとネット」の関連で調べようとする人に対応するという意味でも、解説を加えた方がよいのではないかな。
- ・福祉分野の各種計画について、可能であれば追加することが適当と思われる。
- ・福祉分野の各種計画について、これまでの検討の過程で取り扱われたわけではないため、必要かどうか判断しきれない。計画書作成の際に解説が必要となった用語よりも、これまでの検討の中で分かりにくかった用語を解説するべきではないかな。
- ・検討の際に分かりにくかった用語として「ゆめこらぼ」や「ファミリー・サポート・センター」があるが、資料4の本文で必ずしもそれらの用語が出現するとは限らない。すると、用語と用語解説の関連が分からなくなる。
- ・計画における「用語解説」は、本文と照らし合わせながら辞書的に引くような用途で使われることが少ないのではないかな。むしろ、活動を実施する上で必要な用語を「用語解説」に載せるべきだと思われる。
- ・表題として市の計画が掲載されている関係で、「用語解説」に追加することが考えられる。(委員長)
- ・「第二次」においては、3ページにわたり、「西東京市における福祉関連の言葉」として用語の解説を行っている。これに対し、第三次においては、1ページに絞っている。そのため、たとえば、計画書本文で使用されていない用語であっても、用語解説の「狙い」や「意図」を明確にした上で、用語の選定を行う必要がある。
- ・上記意見から判断すると、「用語解説」ではなく、「活動をするためのキーワード」としたほうが柔軟なのではないかな。(委員長)
- ・第二次では「西東京市における福祉関連のことば」の他に「用語解説」のページを設けているが、その方法を踏襲する形ではどうか。(委員長)
- ・「用語解説」は、該当する各ページで行うことが妥当だと思うが、資料編の「用語解説」ページで解説を行うのであれば、それぞれの用語がどのページに掲載されているかを示すことが望ましい。ただし、「用語解説」とする場合、現段階の用語数では少なすぎるのではないかな。
- ・ページごとに用語解説を行うと、ページ数が膨らんでしまうのではないかな。「用語解説」は資料編に置くこととし、そこに用語が出現するページ数を示せば良いと思う。
- ・「ファミリー・サポート・センター」は本文で出現するかどうか不確定であるため、「用語解説」の代わりに「社協を知ってもらうためのキーワード/ことば」とした方がよいのではないかな。また、「社会福祉協議会」の解説も必要である。
- ・市の関連計画に関する解説については、解説の文言に関して、市への紹介が必要となるため、発行時期に影響を及ぼしかねない。
- ・市の関連計画の解説については、事務局で確認し、調整することが可能だと思われる。
- ・「NPO 市民フェスティバル」がピックアップされているのであれば、その

兼ね合いで「こそだてフェスタ」や「つなげる・まちづくりサミット」等の解説も必要ではないか。

- ・「西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ」に関する解説文に違和感がある。事業名や施設名を紹介するという意図であれば、「当センター」という書き方はおかしいのではないか。
- ・「NPO 市民フェスティバル」の解説文については、調整が必要と思われる。

<決定事項>

- ・「自助」、「公助」の追加を行う。
- ・「地域福祉計画」の用語解説を行う。また、福祉分野の市の関連計画についても、用語解説に追加する方向で検討する。
- ・「地域福祉コーディネーター」については、「ほっとネット」の用語解説の中で説明を行う方向で検討する。
- ・本文と対応関係にある用語についてはページ数を明記するが、基本的に「用語解説」ではなく、別の文言の項目に変更し、本文と対応関係にない用語についても含める方向で検討する。
- ・「NPO 市民フェスティバル」については、市民協働推進センター長に問い合わせるなどして、文章を調整する。
- ・「こそだてフェスタ」等の解説については、イベントへの参加の関係もふまえて、掲載する方向で検討する。
- ・「用語の解説」について、追加したい用語がある場合は、なるべく解説の文章案も添えて、3月28日（金）までに事務局に提出する。

③変更点について

「意見交換」

[表紙について]

- 表紙：計画の愛称に関して

<委員意見>

- ・前回の会議において、「みんなですすめる計画」で異議はないのか確認を行ったが、その後、決定したのか。

事務局：・委員に対し、期日を設けてご意見を受け付けたが、特に挙がってこなかった。

- ・愛称は「みんなですすめる計画」でよいか。

(委員からの異議無し。)

- ・「住み慣れた地域で住み続けるために」という文言も追加するのか。
- ・「住みなれた地域で住み続けるために」は、もともと委員の意見を基本理念の副題として位置づけていたものである。「みんなですすめる計画～住みなれた地域で住み続けるために～」というフレーズで決定する方向で良いか。

(委員からの異議無し。)

<決定事項>

- ・計画の愛称は、「みんなですすめる計画～住みなれた地域で住み続けるために～」とする。

- 表紙のレイアウトに関して

<委員意見>

- ・左上にある「福しんごうくん」のイラストで、「福しんごうくん」を知らない人のために、文字で表示を行うなど工夫して欲しい。
- ・名前を添えると、社協のPRになるのではないか。
- ・「福しんごうくん」のイラストを現在の位置から移動し、中心に大きく表示するのではどうか。

<決定事項>

- ・「福しんごうくん」のイラストの下方に正式名称を記載する。
- ・「福しんごうくん」を表紙の中心に大きく表示する方向で検討する。

3. 第三次西東京市地域福祉活動計画の推進体制について

事務局より、資料③及び「ご案内」を用いて、「計画の推進体制」について説明を行った。

委員長：計画の推進が始まろうとしている。一人でも多くの方に推進部会メンバーとして手を挙げていただきたい。

4. その他

委員長：最後に、各委員の皆様よりお言葉をいただきたいと思う。

<各委員からひと言>

委員：様々な立場の方が集まる場に参加できて良かった。事務局の文章を承認するのではなく、議論のできる会であったため、有意義な参加ができた。計画が実現されることを願うとともに、次期計画までにどのような進捗となっているかを楽しみにしている。

委員：様々な分野の方との議論を通して、有意義に過ごすことができた。いまだに疑問に残る点も含め、勉強になった部分が多かった。今後それらを深めていきたいと考えている。

委員：初めての参加となったが、様々な方との出会いがあり、また、様々な立場の意見を耳にすることとなったため、有意義だった。自分が子ども分野に関わっている関係で、議案について事前に調べたり、どのような意見を述べるかを思案したりして、真摯に向き合うことができた。計画策定後、西東京市において計画がどのように実現されるのかについて、責任を持って見届けるべきであると考えている。

委員：活発なご意見に圧倒された1年半であった。自分の分野に関連のある方々のご意見を聞くことができ、勉強となった。自分と関わっている人

びとが、どのような形で地域の一員となるのかを考えながら計画をつかった。委員の皆様には、計画が実現される様子をぜひ見届けて欲しい。

委員：楽しい会であった。決められた内容について承認をする会が一般的である中で、この委員会は意見が飛び交う会であった。事務局が途中で方向転換を行う意思決定をしたおかげで、楽しかった。推進部会メンバーへの参加を検討している。

委員：昨年より延べ17回の委員会が実施された。この回で終わりということではなく、これからがスタートであると捉えている。社協の方と協力しながら計画を実現させたいと思っている。

委員：西東京市や社協の委員会には多く関わってきたが、本委員会は運営面などで最も「破天荒」であったと感じる。第一次、第二次、第三次計画のいずれにもシンクタンクが起用されてきたが、第三次は特に委員が主導権を持って運営されてきたように思う。第三次は、第一次、第二次に比べ計画書のページ数が少なく、事業数も少ないが、実現可能性の高い事業に絞るなど議論が凝縮されているように思う。社協だけでなく、いかに市民を巻き込むかという点でも優れた計画となっている。市民に本計画を理解していただくには1～2ページ程度のリーフレットを用意しておくことが望まれる。事業の内容(回覧板など)によっては、自治会がすんなりと受け入れてくれないことも懸念されるので、推進部会で十分検討した方がよい。

委員：久しぶりにこの地域にかかわる中で、西東京市の住民力が向上していることを痛感する。事務局、委員長は調整が大変だったと思われる。スリリング、且つ、チャレンジングな委員会の内容であった。

委員：お仕着せではない会議であったため、楽しかった。「偉い人」が揃うような委員会においては、市民が口を出せない雰囲気がある。本委員会は、まず、市民の委員会なのか、それとも社協の委員会なのかを確認した上で始まった。実施する際に広めやすい計画となっていると思う。推進部会メンバーへの参加を検討している。

委員：自分は、自身のリハビリのつもりで参加させていただいていた。委員会に出席するたび、脳の刺激になってよかったと思っている。自分の班で議論した内容は、自分の住む地域で既に実践されているため、即実行できるような気がする。楽しい会であった。

委員：社協理事の立場として参加したが、委員の皆様が実践している方であることから、生の声を聞くことができた。計画が広く市民に行き渡り、策定委員として携わって良かったと思えるような実施機関であって欲しい。

委員：楽しい議論を行うことができた。毎度参加することが楽しみであった。西東京市に携わる方々に出会えたことが今回の実りであったように思える。自分の意識が徐々に「西東京市に住み続けたい」ことに移行したため、あらゆる問題を自分のこととして捉えるようになった。

委員：副委員長として、とまどいながら1年半参加をした。地域福祉のことについてなじみがなかった。委員の方から話を聞いているうちに、「ふれまち」が確立されていればそこでいろいろなことができるのでは、と思うようになった。各班での議論がまとまっていくかどうかについても、疑問があった。ともあれ、計画がここまできれいにまとまった。事務局の腕、委員長のとりまとめについて感心した。皆様との出会いを通して、地域の中で顔見知りができただことに対して嬉しく思う。

委員長：1年半お世話になった。本委員会については、先が読めない部分が多かった。このような委員会は、初めての経験であったため、至らない点もあったかと思う。第二次、第三次に関わる中で、第二次があるから第三次があるということを確認した。第二次で「ほっとネット」が成立し、さらには「地域福祉コーディネーター」が配備され、取り組みが続いている中での第三次策定であった。第二次で作られたものがあるからこそ、第三次が出来上がったと感じる。第三次に続いて第四次では新たな局面があるのではないか。第三次のような作り方をする事例は他に見ない。まさに、西東京市オリジナルの計画であるといえる。計画を実践するにはお力添えをいただきたい。推進部会メンバーに入るかどうかにかかわらず、策定をした方々と一緒に、関わっていくことが求められる。そして、計画を実現していきたい。これだけの議論をとりまとめてきた事務局に改めて拍手をおくりたい。

(委員より拍手)

事務局より、挨拶とともに、成果品の印刷に向けた今後の時期について説明を行った。また、懇親会に関する予定の案内を行った。

最後に、事務局長より挨拶を行った。

事務局：各分野よりご出席いただいている委員の皆様のご協力により、計画が完成した。今後、計画を実践するにあたり、社協が市民とともに動くことが「役目」であると考えている。ありがとうございました。

以上